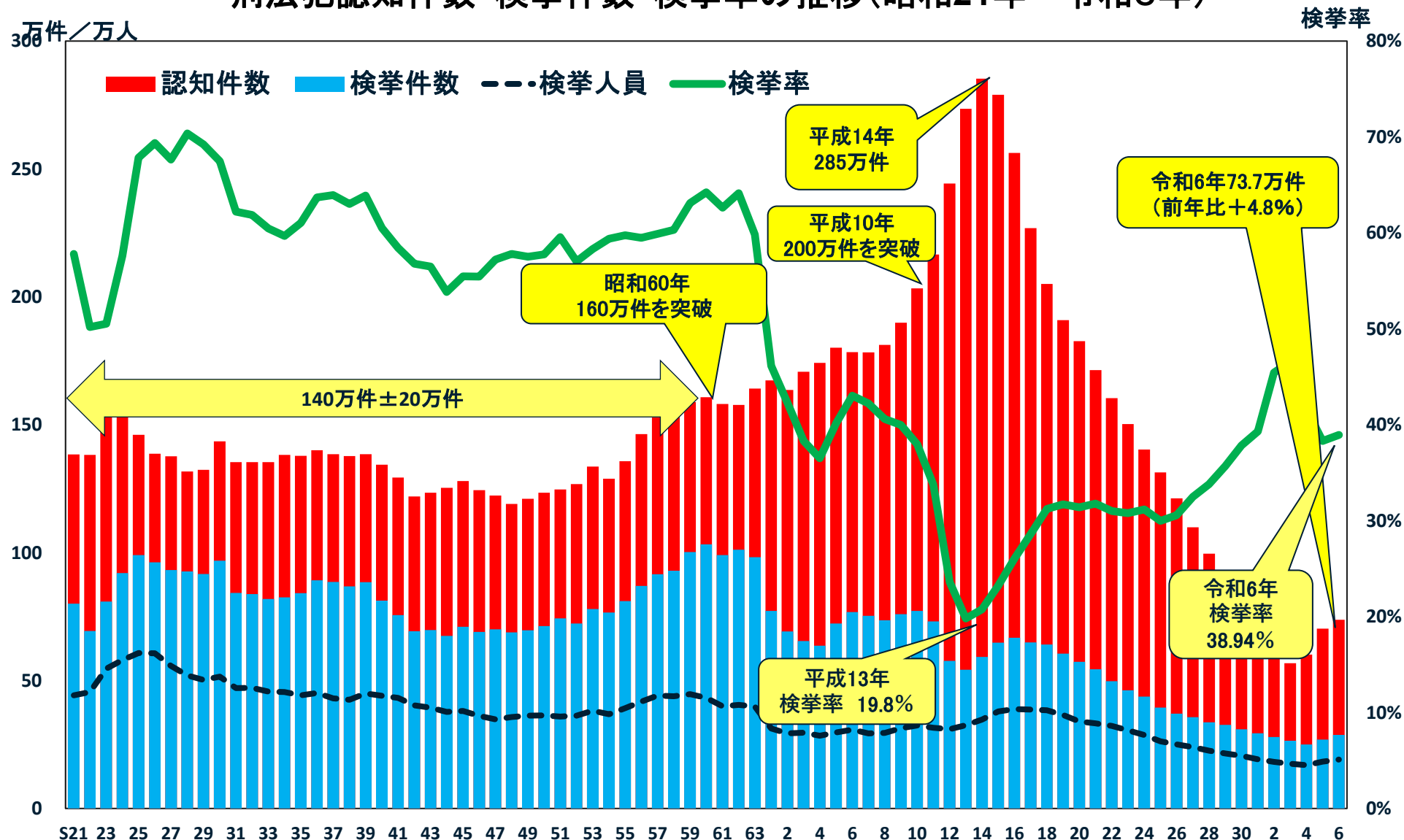


1. 平成期における犯罪情勢の急激な変化

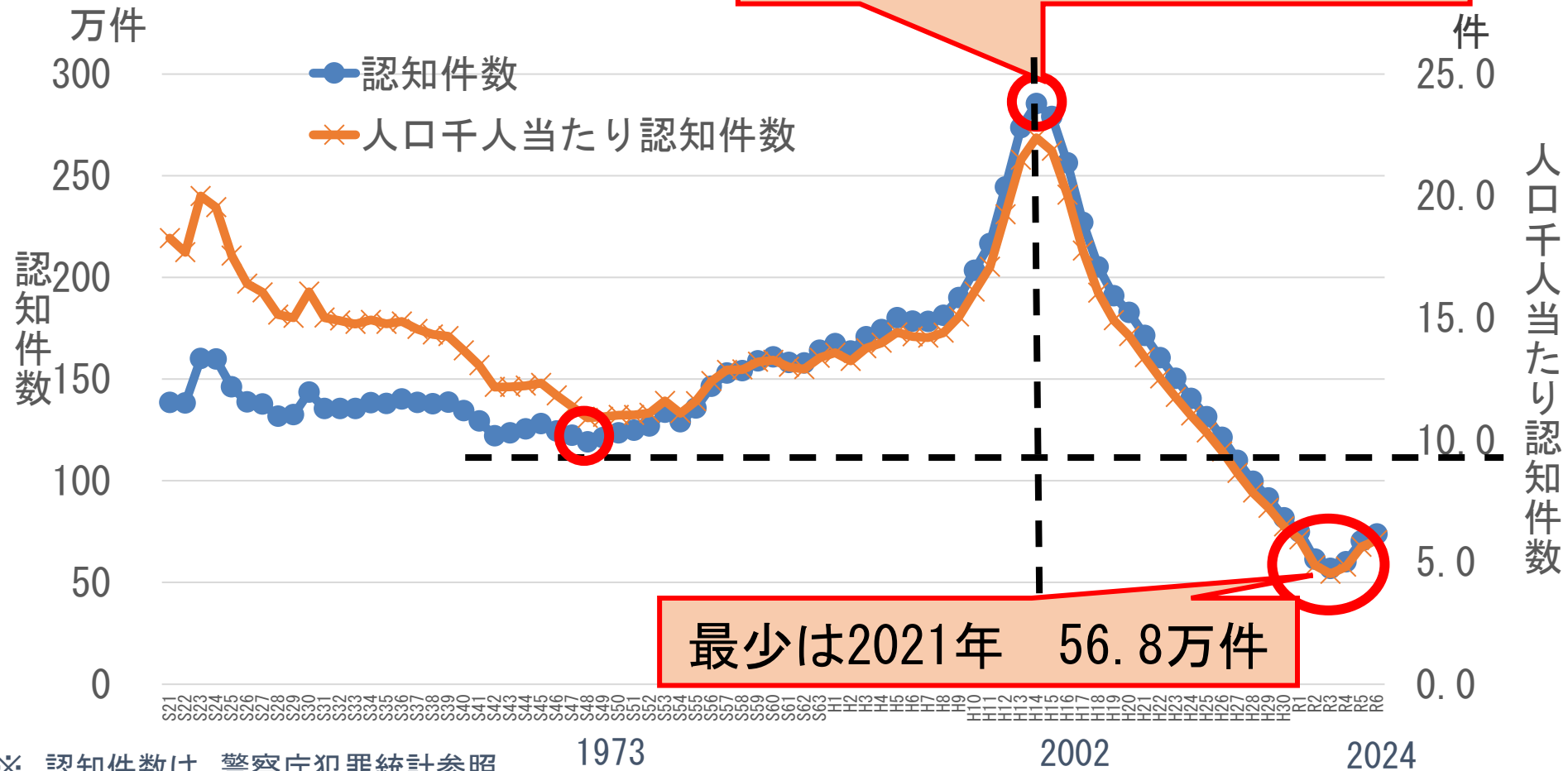
刑法犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移(昭和21年～令和6年)



1. 平成期における犯罪情勢の急激な変化

我が国の治安情勢

刑法犯認知件数の推移



※ 認知件数は、警察庁犯罪統計参照

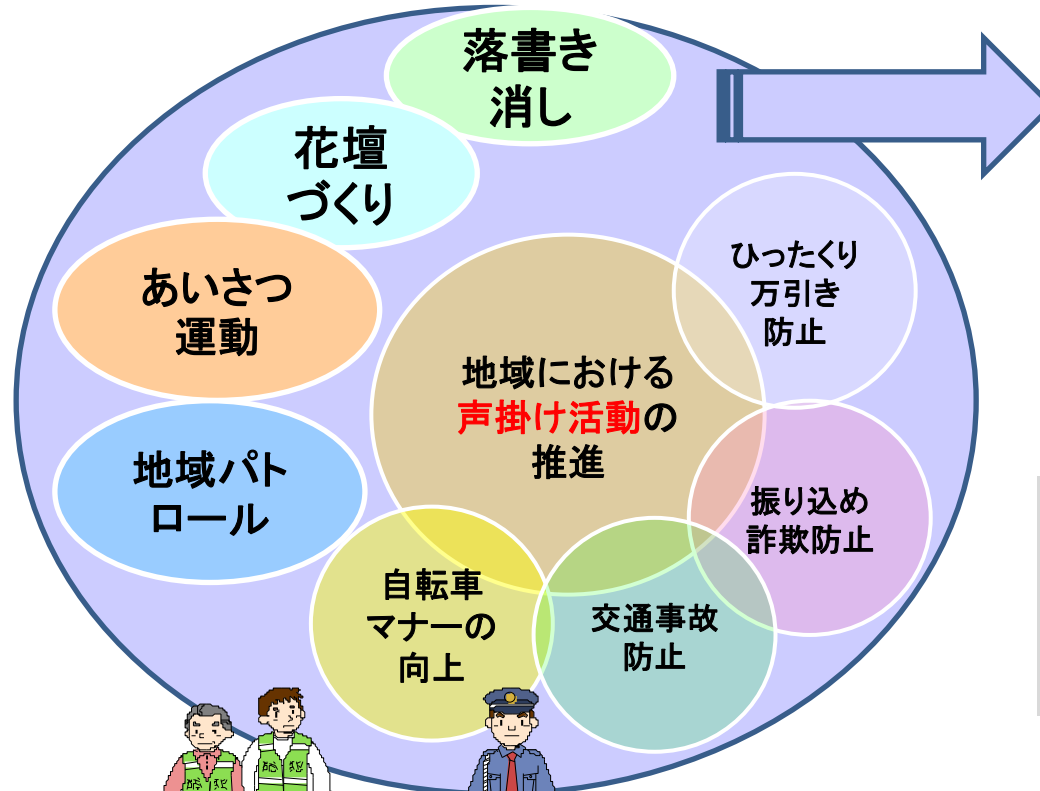
※ 人口は、総務省人口推計結果による10月1日現在の総人口。ただし、令和6年は令和6年10月1日現在の人口。

安全と安心

「安全」－物理的な危険のないこと。

「安心」－危険のおそれを心理的、主観的に感じる、いわば主観的安全、その安心感がない状態を「不安」という。

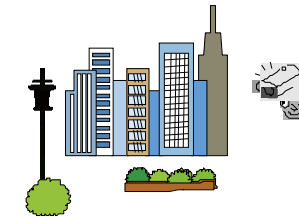
「安全」は、刑法犯認知件数等の数値で表しやすいことから、「指数治安」、
「安心」・「不安感」は、体感温度類似の言葉で「体感治安」と言われることがある。



防犯ボランティア（攻める防犯・ながら防犯）
と共に創る、新たなコミュニティ

参加型犯罪予防の推進 （人づくり、情報の発信・共有）

防犯カメラ等の環境整備
疲れない、眠らない、見逃
さない、忘れない



真の安全で安心できる社会の実現により、
Quality of Lifeを享受

持続可能な活動であること！

各機関の連携不可欠 **not knowing**

「not knowing」を前提とした連携について

- 知ら先、と、こなる。知優と果に、い剰ある。を合る結めな過が性都め、たね、と特の求らいかがこのらをがなし語るい自携なで化用が互が連しど悪うながお方に待ほりいつが、一ず期たよとにい、せにし前「信互け慮果待従携不、おわ配成期が連で、り、にのが係「望もと性策果関、失て、特施成しれのっ、にのの望さ度いま方て際失想過とま手し実に予と携い相携て携が待連なで連し連と期
- 「not knowing（「知らない、姿勢」）を前提として合つる。知らない、うた。す、に、しり立え、前設を成と「姿勢と者こ頼必のいたべ互と